

衆議院環境委員会ニュース

平成 24. 6. 8 第 180 回国会第 5 号

6 月 8 日（金）第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 原子力の安全の確保に関する組織及び制度を改革するための環境省設置法等の一部を改正する法律案(内閣提出第 11 号)
原子力安全調査委員会設置法案(内閣提出第 12 号)
地方自治法第 156 条第 4 項の規定に基づき、産業保安監督部及び那覇産業保安監督事務所並びに産業保安監督部の支部並びに産業保安監督署の設置に関し承認を求めるの件(内閣提出、承認第 1 号)
原子力規制委員会設置法案(塩崎恭久君外 3 名提出、衆法第 10 号)
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。
- | | |
|-------------------------|--------|
| (参考人) 獨協医科大学准教授 | 木村 真三君 |
| 福島原発事故独立検証委員会委員長 | 北澤 宏一君 |
| 法政大学大学院客員教授 | 宮野 廣君 |
| 認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所所長 | 飯田 哲也君 |

(質疑者及び主な質疑内容)

吉川政重君(民主)

- ・原子力安全規制行政の新組織の在り方について、各参考人に所見を伺いたい。
- ・原子力災害対策特別措置法に基づく緊急時の原子力災害対策本部長(内閣総理大臣)の指示権は必要であると考えているのか、各参考人に伺いたい。

澤参考人の見解を伺いたい。また、政治の過剰介入を排除するための方策について、同参考人及び飯田参考人の所見を伺いたい。

- ・福島第一原発事故においては、シビアアクシデントに対する想定が不十分であったが、平時から各自治体や警察、消防等の関係者と連携を取るための方策、また、連携を充実させるための留意点について、各参考人の見解を伺いたい。

柴山昌彦君(自民)

- ・東京電力の福島第一原発からの撤退の申し出を菅総理(当時)が拒否したことに対する評価及び同種の事態が発生した場合に新しい原子力安全規制組織が適切に対応できる可能性について、北澤参考人の所見を伺いたい。
- ・原子力安全規制組織の人材確保のため、ノーリターナルの一部適用除外を設ける必要性について、木村参考人の所見を伺いたい。
- ・新しい原子力安全規制組織が、専門性と権限の一元化が担保された組織であれば、緊急時でも政治の関与は不要であると考えているが、各参考人の所見を伺いたい。

齋藤やすのり君(きづな)

- ・政府が行おうとしている関西電力大飯原子力発電所の再稼働の政治面及びリスク面から見た正当性について、宮野参考人及び飯田参考人の所見を伺いたい。
- ・緊急時の原子力災害対策本部長の指示権の在り方について、不当な政治介入を避けるという観点からの木村参考人及び北澤参考人の所見を伺いたい。
- ・原子力安全規制組織の長となるべき人材の職歴及び仕事への姿勢について、飯田参考人及び宮野参考人に伺いたい。

江田康幸君(公明)

- ・新しい原子力安全規制組織におけるノーリターナルの手順及び職員の処遇の改善の在り方について、飯田参考人及び北澤参考人の所見を伺いたい。
- ・緊急時の原子力災害対策本部長の指示権について、福島第一原発事故を民間事故調として検証した立場から、北